

イメージキャラクター  
ふくにゃん

ふれあいネットワーク

曾於市社会福祉協議会情報紙

第99号

令和8年4月15日



# 手と手

やさしさ  
100パーセント



今号の表紙絵「さくら」

船寄 慎吾 さんの作品



夢の中に出てくる事を思いのままに描いてます。出来た作品をみんなに見てもらい、楽しんでもらったり、教えたりして、喜びや笑顔を届けたいです。

理念 人と人とのつながりを大切に地域と共に歩む

発行／社会福祉法人 曾於市社会福祉協議会 曾於市財部町南俣 504 番地 1(財部保健福祉センター内)

TEL : 0986-72-0460 ・ 0480 FAX : 0986-72-0425

# 令和8年度事業計画

曾於市社協は、地域の一人ひとりがその人らしい生活を継続できる地域づくりのために、思いに寄り添い、「人と人のつながりを大切に地域と共に歩む」の理念のもと、各重点事項と事業に取り組んでまいります。

## 住民主体の福祉活動の推進

### ● 住民参加型の福祉活動の推進

26校区・地区社協を基盤に、地域の支え合いを強化します

#### ・ ささえあいネットワーク事業

在宅福祉アドバイザー・民生委員・地域住民が連携し、見守り・安否確認・相談支援を推進

#### ・ ふれあい・いきいきサロン・体操教室（転倒予防教室）活動

引きこもり防止、介護予防、交流の場づくりを支援

#### ・ ほっとサービス（住民参加型生活支援）

公的サービスでは対応できない困りごとに地域住民が協力して、生活支援を必要とする方の暮らしを支援

#### ・ 居場所づくり事業

障がいなど同じ立場の人たちが語り合い、共感し合える場をつくります

### ● 校区・地区社会福祉協議会活動事業

校区・地区社協の活動に対し、助成と伴走支援を行います

### ● 地域福祉ネットワークづくり

様々な関係機関・団体等のネットワークづくり（情報共有・課題解決・活動強化）を図ります

### ● 共同募金運動の推進

赤い羽根共同募金を財源とした地域福祉活動を展開すると共に、募金の趣旨を広く啓発します



## 福祉教育と啓発活動の推進

### ● 社会福祉大会の開催

多年にわたり社会福祉の向上に尽力された方々の功績をたたえるとともに、地域住民と様々な地域関係者が一堂に会して、福祉について共に考え、地域福祉を推進することを目的に開催

### ● 福祉教育の推進

福祉教育出前講座、サマーボランティア体験、ふくしワークショップ、地域福祉人材養成研修などの開催

### ● 情報発信の強化

- ・ 情報紙「手と手」、ホームページ・SNS での情報発信
- ・ イメージキャラクター「ふくにゃん」による啓発



## ボランティアの育成と活動支援、災害に備えた支援体制の構築

### ● ボランティア・市民活動センターの運営

登録・相談・斡旋・情報提供を行い、地域のボランティア活動を支えます

### ● ボランティア育成

- ・ 手話奉仕員養成講習会
- ・ 災害ボランティアに係る研修

### ● 災害ボランティアセンター体制の整備

大雨・地震などの災害に備え、平時から設置訓練・連携強化を行います



## 相談支援機能の充実と権利擁護の推進

### ● 総合相談窓口機能

介護、地域、生活困窮などあらゆる相談に対応し、関係機関と連携し支援を進めていきます

### ● 権利擁護センター

- ・ 認知症・障がい等で判断に不安のある方の金銭管理やサービス利用の支援（日常生活自立支援事業）を実施
- ・ 法人後見事業の実施
- ・ 成年後見制度等の普及・啓発活動の実施
- ・ 身寄りのない方の相談窓口 **（新規）**

### ● 地域包括支援センター

地域の高齢者等が安心して生活を継続できるように相談支援、介護予防、認知症支援、権利擁護・虐待防止等を行います

### ● 生活相談支援センター

生活・金銭の不安や悩みなど抱えている方の相談に応じ、継続的な生活支援や就労支援等を行います

### ● 無料法律相談

### ● 在宅介護支援

在宅での介護にお悩みの家族等からの相談対応、介護技術などの助言

### ● 生活福祉資金貸付事業、小口福祉資金貸付事業

低所得世帯、高齢者世帯、障害者世帯などの自立した生活を援助するための相談対応、償還指導



## 介護・障がい・生活支援サービスの実施

### ● 訪問介護・訪問入浴・通所介護・小規模多機能型居宅介護等

高齢者や障がい者が地域で自立した生活を営むことができるように、利用者の生活状況に応じた支援を提供

### ● 居宅介護支援（ケアマネジメント）

利用者やご家族の思いによりそった質の高いケアプランの作成と相談支援

### ● 訪問給食サービス

在宅で暮らす高齢者や障がい者等へ配食サービスを行いながら食生活の改善及び健康増進や安否確認を実施



## 令和8年度 曾於市社会福祉協議会予算

収入	勘定科目	予算額
	会費・寄附金収入	3,833,000円
	補助金・受託金収入	241,147,000円
	介護保険・障害福祉サービス事業等収入	224,167,000円
	基金等取崩	14,358,000円
	その他の収入	3,001,000円
	合計	486,506,000円

支出	勘定科目	予算額
	人件費支出	358,483,000円
	事業費支出	100,156,000円
	事務費支出	17,080,000円
	助成金支出	4,257,000円
	その他の支出	6,530,000円
	合計	486,506,000円

# 令和8年度 地域福祉活動スケジュール

(令和8年4月1日～令和9年3月31日)

**なんてんの会** | 認知症当事者や家族の会

場所 | **そお生きいき健康センター**

時間 | **午前 10:00 ~ 11:30**

4月10日(金) / 5月 8日(金) / 6月12日(金)  
7月10日(金) / 8月 7日(金) / 9月11日(金)  
10月 9日(金) / 11月13日(金) / 12月11日(金)  
1月 8日(金) / 2月12日(金) / 3月12日(金)

**ほっと Café 俺** | 男性の介護経験者等のつどいの場

場所 | **そお生きいき健康センター**

時間 | **午前 9:30 ~**

4月14日(火) / 5月26日(火) / 6月23日(火)  
7月28日(火) / 8月25日(火) / 9月29日(火)  
10月27日(火) / 11月24日(火) / 12月22日(火)  
1月26日(火) / 2月16日(火) / 3月16日(火)

**男子料理会** | 男性の食の自立と仲間づくりを促進する場

場所 | **大隅弥五郎伝説の里**

時間 | **午前 10:00 ~ 12:30**

4月24日(金) / 5月21日(木) / 6月18日(木)  
7月16日(木) / 8月20日(木) / 9月17日(木)  
10月15日(木) / 11月19日(木) / 12月17日(木)  
1月21日(木) / 2月18日(木) / 3月18日(木)

**大隅地域ほっとカフェ** | 認知症の方やご家族の居場所

場所 | **大隅弥五郎伝説の里**

時間 | **午前 10:00 ~ 11:30**

4月 1日(水) / 5月13日(水) / 6月 3日(水)  
7月 1日(水) / 8月 5日(水) / 9月 2日(水)  
10月 7日(水) / 11月 4日(水) / 12月 2日(水)  
1月 6日(水) / 2月 3日(水) / 3月 3日(水)

**財部地域ほっとカフェ** | 認知症の方やご家族の居場所

場所 | **デイサービスてんとうむし**

時間 | **午前 10:00 ~ 11:30**

4月14日(火) / 5月12日(火) / 6月 9日(火)  
7月14日(火) / 9月 8日(火) / 10月13日(火)  
11月10日(火) / 12月 8日(火) / 1月12日(火)  
2月 9日(火) / 3月 9日(火)

**ゆずゆるりの会** | 障がい者、ひきこもり等の当事者の会

場所 | **そお生きいき健康センター**

時間 | **午前 10:00 ~ 11:30**

4月13日(月) / 5月11日(月) / 6月 8日(月)  
7月13日(月) / 8月10日(月) / 9月14日(月)  
10月19日(月) / 11月 9日(月) / 12月14日(月)  
1月18日(月) / 2月 8日(月) / 3月 8日(月)

**ひだまりカフェ** | 脳血管疾患当事者の会

場所 | **大隅弥五郎伝説の里**

時間 | **午後 2:00 ~**

4月15日(水) / 6月17日(水) / 8月19日(水)  
10月21日(水) / 12月16日(水) / 2月17日(水)

詳しくは曾於市社会福祉協議会 本所・各支所にお問合せください。

# ち い き の う ご き

## 地図を活用して地域づくりを考える

地域づくり連絡会 令和7年12月19日 財部保健福祉センター

地域づくり連絡会は、校区・地区公民館、コミュニティ協議会、校区・地区社会福祉協議会の連携による「誰もが安心して暮らせる地域づくり」を目的に、連携と協働の強化を図る場として開催しています。

今回は、地域福祉の推進を図っていくために、地域住民を巻き込みながら地域づくりに取り組む手法の一つである「支え合いマップづくり」を共に学びました。

鹿児島県社会福祉協議会地域福祉部主事の徳永朱音氏を講師に、「支え合いマップづくりを活用した地域づくり」と題して、支え合いマップづくりの目的や効果、進め方などのノウハウをお話いただき、実際に架空の地域の地図をひろげ、シナリオに沿って寸劇で体験をしました。

社協職員役、地域住民役となってシナリオを進めていくと、そこに住む住民のことや地域のつながりなどの情報が地図に載り、地域が見える化されていくことや、地図をひろげて地域のことを語り合うことで、見えていなかったことに気づくことができることがわかりました。そして、マップから気になる人や気になることを見つけ、地域でどのようなことができるのか考えました。中には、ご自身の地域と重ね合わせて考えられる方もいらっしゃいました。

地域づくりの主役は住民です。今回の支え合いマップづくりの手法も取り入れながら、地域の皆さんと一緒に地域に目を向け、声を聞きながら、共に取り組んでまいります。



## 支え合いマップとは

地域のつながりや気になる方などを地図に書き出し、みんなで共有する取り組みです。地域の良いところや困りごとを把握しながら、地域の課題を見つけ、課題解決に向けて話し合う一つの手法です。

「マップを作ることが目的」ではなく、

「地域生活や福祉の実態をマップに浮き上がらせることが目的」です。

認知症の人が多くいることがわかった。認知症サポーター養成講座の開催につながり、認知症への正しい理解と共に生活できる地域づくりの思いが高まった！

誰がどこに住んでいるのか見えるようになった！  
見守り活動の強化ができた！



住民の集まりが少なくなっていた地域にサロンができた！

支え合いマップはこんな効果があります

- ・見守りや助け合いのきっかけになる！
- ・地域活動づくりにつながる！
- ・災害時にも役立つ！

ご近所で地域活動のヒントを一緒に探しませんか？地域のことをみんなで一緒に考えて、よりよい地域づくりに取り組んでいきましょう。

【お問合せ】

曾於市社会福祉協議会地域福祉課地域係

☎ 0986-72-0460

## 地域で支える子ども・子育て支援のしくみづくり

### 子ども・子育て支援連絡会 そお生きいき健康センター

本会では、市内の子ども、子育て世帯を支援する機関・団体が顔の見える関係を築き、情報や課題を共有し、新たな支援のしくみづくりに取り組むことを目的に子ども・子育て支援連絡会を年2回開催しました。今後も関係機関と連携しながら、地域全体で子ども・子育て世帯を支える体制づくりを進めてまいります。

#### 【1回目】「顔の見える関係づくり（第2弾）」

令和7年9月22日

曾於市役所子ども未来課子育て応援係の末増 香織氏より曾於市の現状や取り組みについてお話いただきました。また、参加機関・団体で活動内容などの情報を共有する機会として、自己紹介や情報交換を行いました。



#### 【2回目】「子どもや子育て世帯が抱える日常生活における課題について」

令和8年1月20日

NPO 法人そお文化村の松下 美智代氏より事業説明と日頃の支援から見える子ども・子育て世帯が抱えていることについてお話いただきました。また、それぞれが日頃現場で見えている日常生活における気がかりなこと・心配なことについて語り合いました。学校との連携の在り方や不登校に関すること、家庭環境に課題を抱える世帯への関わりなどの課題があがりました。



## ち い き の う ご き

### 「地域で福祉」を考える

みんなが安心して暮らせる地域づくり実践者養成研修会 令和8年3月6日

末吉中央公民館

地域福祉課題が複雑化・複合化している中、これからの地域の福祉を推進していくうえで、地域の現状に目を向けながら、みんなが安心して暮らし続けられる地域づくりについて、「こうありたい」、「やってみたい」を考え、実践につなげていく人材を養成することを目的に研修会を開催しました。

研修会は、鹿児島県社会福祉協議会地域福祉部副部長の瀬戸口誠氏より、地域福祉の現状と今後の動向についてのお話、他地域で取り組まれている実践事例の紹介、グループワークの内容をもとに実践のヒントなどをいただきました。本会からも地域福祉と曾於市社会福祉協議会の取り組みについてお話させていただき、福祉への理解と事業への参加、協力の促進を図りました。

グループワークでは、自分たちの地域にいっしょに目を向け、「良いところ」や「気になること」、「こんなことができたらいい」などを出し合いながら、自分たちにできることをいっしょに考え、買い物支援や住民がつながる居場所づくり、世代間交流の取り組みなど様々なアイデアが出されました。

一人ひとりが住み慣れた地域で安心して暮らしていくために、地域生活における困りごとに対し、自分事として手を取り合い、解決に向けて取り組むことの必要性は高まっています。今後も地域の福祉への理解と関心を高め、支え合いの機運を醸成し、共に支え合いの地域づくりに取り組んでいきます。



## 福祉教育実践を考える

### 第2回ボランティア協力校連絡会 令和8年2月12日 財部保健福祉センター

本会は、市内の学校（小学校、中学校、高等学校）をボランティア協力校として指定し、協働で福祉教育の推進を行っています。毎年、福祉教育の目的の共有や連携を強化する機会として連絡会を開催しています。今回は本会で取り組んでいる事業の実践発表と福祉教育についてのグループワークを行いました。実践発表では、大隅北小学校での福祉教育出前講座について紹介しました。事前の学校や地域の方との打合せ、福祉やボランティア活動を知る学習、実際の訪問活動の様子、その後の地域活動への参加について報告しました。また、中高生を対象としたサマーボランティア体験活動や小学生向けのふくしワークショップについても報告を行いました。グループワークでは、福祉教育のカリキュラム作成を行いました。事前学習の大切さや、導入部分で理解してほしい事、実際に体験活動や当事者の方との交流などで気づいたことや感じたことを振り返り、共有したいこと等について意見交換が行なわれました。参加された先生方からは、事前学習と導入部での説明の重要性や体験活動を行う前と行った後の生徒や児童の気持ちの変化に着目して、今後のボランティア活動に活かしたいとの意見もありました。今回の連絡会での意見を参考に、今後もボランティア協力校とともに福祉教育の推進に取り組んでいきます。



## ち い き の う ご き

### 共に地域福祉の推進を

#### 地域福祉推進連携会議 令和8年1月26日 そお生きいき健康センター

12月の民生委員・児童委員の一斉改選に伴い、民生委員児童委員協議会と社会福祉協議会及び校区・地区社会福祉協議会の連携を図ることを目的に、地域福祉推進連携会議を開催しました。

曾於市福祉介護課より、曾於市における福祉の現状や民生委員・児童委員の役割について説明があり、社会福祉協議会の役割についてお伝えし、その後、地域別に校区・地区社会福祉協議会との意見交換を行いました。地域福祉の推進という共通の目的のもと、相互に連携しながら地域づくりに取り組んでまいります。



### 「認知症の人と介護者の集い」

#### 光神校区五位塚地域の取り組みを紹介

令和8年1月21日、オレン地村ごいのっか広場で開所しました。発起人である五位塚高盛氏は、ご家族の認知症介護を経験して、同じ立場の方々が体験や悩み事、不安など気楽に対話し、思いを共感し合える場としてお茶飲み会をオープンしました。テーマは「認知症と共に」です。地域の皆さんとつながり、共に支え合うことを応援していきたい。認知症の方のご家族、ご本人、認知症に関心のある方、ご参加お待ちしております。開催は、毎月第3水曜日、10時から11時30分。参加費は100円です。オレンジ色の看板が目印です。

連絡先 090-3884-7220（五位塚）



# 令和7年度赤い羽根共同募金助成事業報告



令和7年度も赤い羽根共同募金を財源とする助成を受け、地域福祉の推進に取り組みました。皆さまの善意により寄せられた募金を使用させていただきましたことに心より感謝申し上げます。

(事業費 3,716,724 円)

## ささえあいネットワーク事業

地域の中で必要な方に日常的な声掛けや見守り、身近な相談窓口としてつなぎ等を行う活動を推進しています。

身近な住民が在宅福祉アドバイザーとして、自治会単位に一人以上の配置を推進しています。

民生委員・児童委員や近隣住民等との連携したネットワークづくりを通して、孤立防止や生活課題の早期対応につなげています。



## ふれあい・いきいきサロン事業

住民の身近な居場所づくりを推進し、社会的孤立や閉じこもりの防止、住民同士のつながりづくりを進めています。顔の見える関係づくりを図ることで、日常的に気づき合い、助け合える地域づくりにつなげます。また、53 サロンに活動費として541,000円を助成し、サロン活動の充実に役立てられました。

### ・サロン連絡会の開催、情報紙の発行

各地域の活動発表を行い、情報の共有や意見交換を行いました。また、サロンなどの地域活動の情報交換を行うとともに、居場所同士のつながりを広げるために、情報紙「つながいもん Soo」を発行しました。



## 居場所づくり事業

在宅介護者や要介護者、一人暮らしの男性を対象に在宅介護者同士で語り合い、思いを共感し合うとともに、専門職の助言を得ることができる場を設けました。また、一人暮らし男性の食の自立と仲間づくりの促進を図りました。

### ①ほっとカフェ（在宅介護者と要介護者の集い）の開催

### ②ほっと café 俺（男性の在宅介護者）の開催

### ③男子料理会（一人暮らしの男性対象）の開催



## 子育て支援事業

### ①子ども食堂・地域食堂活動の支援

当事者とのつながりをつくり、生活課題の早期発見と迅速な対応に取り組む子ども食堂等の活動を支援しました。

### ②子ども・子育て支援連絡会の開催

市内の子ども、子育て世帯を支援する機関・団体が顔の見える関係を築き、情報や課題を共有しながら、新たな支援のしくみづくりに向けて連絡会を開催しました。今後も関係機関と連携しながら、地域全体で子ども・子育て世帯を支える体制づくりを促進します。



## ほっとサービス事業

サービスを通じて地域における住民同士の助け合いの機運を高めると共に、柔軟性を活かして制度では対応できない生活課題への支援を行うことで、切れ目のない支援により高齢者等の生活を支えます。

### ①事業の周知と依頼会員、協力会員のコーディネート

必要とする人にサービスがつながり、住民同士の助け合いの理解と機運を高めるため、積極的なサービスの周知を行うとともに、サービスを受ける依頼会員の依頼内容や必要な支援を把握し、サービスを提供する協力会員をコーディネートしました。



### ②ほっとサービス協力会員交流会・連絡会の開催

サービスの充実を図るため、認知症の方への接し方について学び、また協力会員同士の情報交換等を通じ交流を図りました。

## 障がい者支援事業

曾於市内の相談支援事業所と情報や課題を共有し、顔の見える関係づくりや障がい者が安心して暮らせる地域生活支援体制づくりを進めるとともに、当事者研究、つながりづくり、地域参加の促進等を行いました。

### ①ふれあいフェスタの開催

市内の事業所と連携し、障がいがある方の地域生活の充実に向けて、地域参加、相互理解を深める機会として実施しました。

### ②障がい者支援連絡会の開催

障がいがある人およびその家族の地域生活を支援する仕組みづくりについて、地域の相談支援事業所と協議を重ねながら資源の開発に取り組みました。

### ③「ゆずゆるりの会」の開催

そお地区障害者等基幹相談支援センターと協働し、当事者の会「ゆずゆるりの会」を開催しました。



## 福祉教育・ボランティア活動推進事業

### ①ボランティア協力校と協働で福祉教育の推進

市内の学校をボランティア協力校に指定し、連絡会の開催や福祉教育出前講座など年間を通じて協働で福祉教育の推進に取り組みました。

### ②サマーボランティア体験活動の実施

夏休み期間中、中高生を対象に行政及び市内の高齢者福祉施設と連携して施設でのボランティア体験活動を行い、福祉への関心と理解を深め、新たな自分を発見する機会としました。



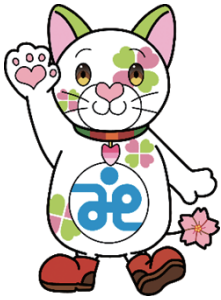
### ③ふくしワークショップの開催

市内の小学生を対象に「ふくしと災害」をテーマに開催。行政や高校生ボランティア、日赤奉仕団の協力のもと、思いやりの心やボランティア、防災について学びました。個人での備えに加え、日頃から助け合える地域のつながりが大切であることを体験的に学ぶ機会となりました。

### ④情報紙「手と手」発行

年4回の発行を通じて、地域住民へ福祉の情報を発信することで、地域福祉への関心を高め、事業への理解の促進を図りました。

## 福祉のまちづくりのため社協会員(会費)へのご協力をお願いします



### 令和8年度 社協会員を募集します

社会福祉協議会(社協)は、社会福祉法第109条に基づき、住民や法人・団体の皆さまの参加と協力をいただき、地域福祉の推進を図ることを目的としています。社協の使命や趣旨、事業にご賛同いただける住民および法人・団体の皆さまのご支援をいただきながら運営する民間の福祉団体です。本年度も、曾於市の福祉のさらなる充実と発展のため、社協会員へのご加入をお願い申し上げます。

### 私たちの地域福祉活動は皆さまからの会費で支えられています

一般会員 年額 250円

※自治会を通じて各世帯にお願いしています。

賛助会員 年額 1,000円以上

※個人の有志の方をお願いしています。

特別会員 年額 1,000円以上

※団体、事務所、事業所等などをお願いしています。

#### Q 会費はどのような活動につかわれるの？

A 令和7年度は、曾於市社会福祉大会の開催、権利擁護に関する事業、被災された世帯へのお見舞金の贈呈など、さまざまな地域福祉活動に使われています。

## 5月は赤十字運動月間です

### 赤十字の活動資金にご協力をお願いします

日本赤十字社では、赤十字と縁がある5月を「赤十字運動月間」として、赤十字の活動の啓発とともに、赤十字運動に参加し支えていただく会員の募集と赤十字事業に必要な会費(活動資金)へのご協力を広く呼びかけています。

日本赤十字社が行う災害時の救護活動や救急法等の講習、青少年の育成など様々な活動は、全て会員の皆さまの会費に支えられています。皆さまのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

#### 皆さまへのお願い

皆さまには、年500円以上を目安としたご協力をお願いいたします。

※年2,000円以上のご協力いただいた会員は、ご希望により日赤の運営参画の支援者として登録いただき、広報誌などを通じて情報提供させていただきます。



#### Q 日本赤十字社と自治会の関係は？

A 毎年、自治会のみなさまには活動資金の募集にご協力いただきありがとうございます。

日本赤十字社は、地域福祉やボランティア活動、防災セミナーなど地域に根差した活動を行っており、また、災害が発生すると、自治体や地域住民の方々と協力して救護活動を展開しています。災害時に共に助け合い、困難を乗り越えられる地域社会を作るため、自治会活動を応援しています。

赤十字については  
こちらから



## 新規採用職員紹介

令和8年1月1日及び4月1日付で本会に4名の職員が採用されました。



**有野 忍**

末吉支所勤務

曾於市地域包括支援センター  
社会福祉士



**永松 ゆかり**

本所勤務

訪問介護・訪問入浴介護事業  
サービス提供責任者兼  
介護職員



**岩波 裕美**

末吉支所勤務

曾於市地域包括支援センター  
介護支援専門員



**富永 このみ**

大隅支所勤務

訪問給食サービス事業  
栄養士兼調理員

## 令和8年度 手話奉仕員養成講習会(入門課程)受講生を募集しています

手話言語を勉強したい方、聴覚障がいがある方への支援活動をしたい方は、ぜひ、ご参加ください。

**開講日程** 令和8年5月15日から毎週金曜日(全20回)

※祝日は開講しません。また、日程が変更となる場合があります。

**場所時間** そお生きいき健康センター 会議室5 19:00~21:00

**募集人数** 18名程度 ※手話奉仕員養成講習会入門過程を修了した18歳以上の方が対象です

**受講料** 無料 ※講習では、「手話奉仕員養成テキスト」(4,290円)を使用します。

**申込方法**

①電話で申込み TEL:0986-72-0460

②QRコードで申込みはこちらから ▶▶▶▶▶

③参加申込書で申込み(FAX可) FAX:0986-72-0425

(申込フォーム)

※申込書は、本会ホームページでダウンロードしていただくか、本所、支所でお渡しできます。

**申込期限** 令和8年4月30日(木)まで



## 無料法律相談開設について

ひまわりの会による無料法律相談

○相談料：**無料**

※1回につき相談時間は30分以内

○申込・受付方法：**事前に予約が必要です。(2日前まで)**

○お問合せ先：

ひまわりの会 事務局 代表弁護士 山口 政幸

鹿児島市山下町12番17号2階

TEL:099-227-0041(受付:平日9時~17時)

○相談日時及び会場

会場	相談日時
財部保健福祉センター	4月16日 (13時から16時まで)
そお生きいき健康センター	5月21日 (13時から16時まで)
大隅弥五郎伝説の里	6月18日 (13時から16時まで)

藤尾法律事務所による無料法律相談

○相談料：**無料**

※1回につき相談時間は30分以内

○申込・受付方法：**事前に予約が必要です。**

○お問合せ先：

弁護士法人 大隅広域ディフェンダー

藤尾法律事務所 末吉支所

曾於市末吉町本町1-4-5 TEL:0986-51-9830

○相談日時及び会場

会場	相談日時
財部保健福祉センター	5月12日、6月9日、 7月14日 (13時から15時まで)
大隅弥五郎伝説の里	4月21日、5月19日、 6月16日 (18時から20時まで)

# たくさんの善意に感謝いたします

曾於市社会福祉協議会では、ご寄付を曾於市民の皆様の地域福祉向上のために大切にさせていただきまます。掲載につきましては、ご本人の承諾を得てご希望どおりに掲載しております。(R8.1.1～R8.3.31 受付分)

## 香典返し寄付金

### 財部地区

山村 キミ様/吉ヶ谷  
 松下 はつよ様/元阿那里  
 上鶴 靖廣様/七村  
 栗原 博己様  
 末廣 勝様/日光  
 坂元 幸弘様/田平  
 西丸 有吉様/上村  
 西久保 ケイ子様/七村  
 延時 イツエ様/踊橋  
 小中野 裕一様/新田

戸越 順子様/上大迫  
 瀬戸 アキ様/阿那里  
 若松 旭様/新田

### 末吉地区

和田 喜久子様/深川西前  
 田之上 紀彦様/六町南  
 高吉 道生様/宮原  
 三枝 順子様/三枝前  
 青山 美智様/見帰  
 山中 竜也様/大沢津

### 大隅地区

和田 宏様/広津田

小島 正男様  
 坂野 トメ様/飛佐  
 松尾 れい子様/市柴  
 永山 ナミ子様/二重堀

## 一般寄付金品

### 末吉地区

匿名/2,000円  
 竹内 政子様/掛上/3,000円

### 大隅地区

匿名

## 正規職員の募集について

社会福祉法人曾於市社会福祉協議会では、下記の業務に従事する職員を公募します。

募集職種	業務内容	募集人数	年齢	資格要件	その他
総務課職員	総務課業務全般(会計・経理・人事労務管理等)を行っていただきます。	1名	不問	不問※ただし、社会福祉に関する国家資格を有する者は尚良	普通自動車一種免許(AT限定可)

受付期限は、令和8年5月13日(水)までとなります。

その他、詳細については、曾於市社協ホームページ又は右のQRコードからご確認ください。ご不明な点がございましたら、曾於市社協 総務課 担当 藤田 (0986-72-0460) まで。



## 社協公式 SNS・ホームページはこちら

＼地域福祉の様々な情報をお届けしています／



ホームページ



Instagram



公式 LINE



ボランティア募集 LINE

NEW  
 ボランティア募集のお知らせなどを発信!

## 曾於市社協情報紙へのご意見はこちらから



## 編集後記

新年度を迎え、あっという間に半月がたちました。昨年の今頃、背中よりも大きなランドセルを背負い登校していた息子は2年生になりました。友だちとのかかわりや学校でのできごとを嬉しそうに話す姿をみていると、とても幸せな気持ちになります。誰もが今ある幸せを大切にしながら、穏やかに暮らすことのできるまちづくりを、曾於市のみなさまと共に目指していきたいと考えています。今年度もどうぞよろしく願いいたします。 H・S



この情報紙は、地域住民の皆様からの赤い羽根共同募金を財源に発行しています。